

現代社会

高度情報社会を「法」と「人権」の視点から考えよう

◆ニュース記事を読んで考えよう

Q. なぜ、この人たちは逮捕されたのだろうか？

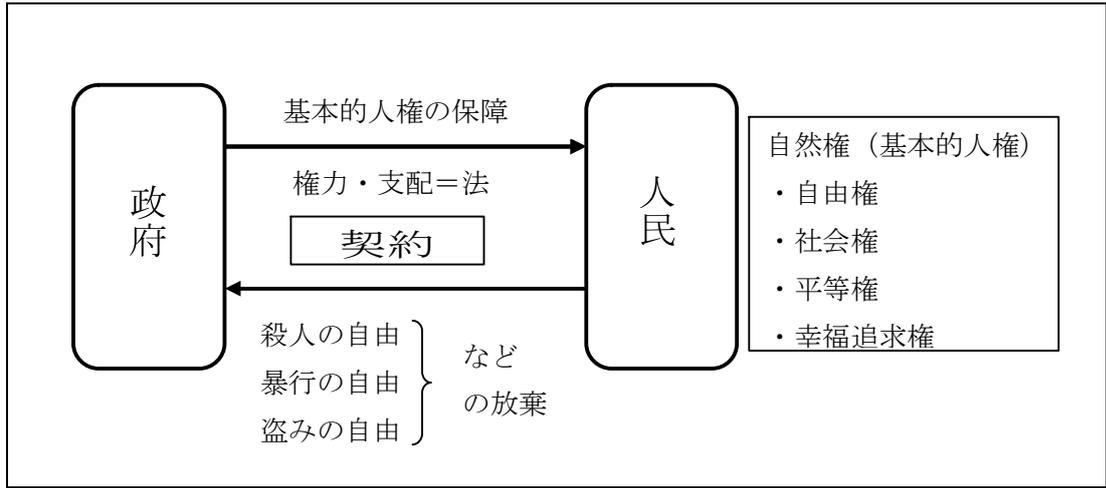
記事の番号	②	⑤	⑥
逮捕の理由	著作権法違反 ※法律に違反したから ※人に迷惑をかけたから	威力業務妨害 ※法律に違反したから ※人に迷惑をかけたから	偽計業務妨害 ※法律に違反したから ※人に迷惑をかけたから

Q. 昔なら、こんな犯罪はありえただろうか？

◆本日の問題①

なぜ、法律はあるのだろうか？
なぜ、法律を守らなければならないのだろうか？

◇ 社会契約説



∴法律を守らなければならない理由

法（権力）は、私たちの基本的人権を保障するためにある
→ 法を守ることは、自他の権利を守ること
→ 法を犯せば、自他の権利を侵しかねない

◆本日の問題②

守られるべき権利とは、誰の権利か？

◇冒頭のニュースで考えよう

記事の番号	②	⑤	⑥
罪状	著作権法違反	威力業務妨害	偽計業務妨害
誰の権利？	カプコン、任天堂	バス会社（、警察）	京都大学

◇著作権ミニクイズ

- (1) 映画作品を制作者に無断でコピーしてネット上にアップロードした。・・・(×)
- (2) その動画を無断コピー作品と知りながらダウンロードした。・・・(×)
- (3) レンタル店で借りてきた合法DVDを自分のDVDにダビングした。・・・(○)
- (4) そのDVDをさらにダビングして10人の友人にプレゼントした。・・・(×)

◇情報ツールの扱い方を誤ると・・・

- A. 著作権法違反・・・(10年)以下の懲役, (1000万)円以下の罰金
- B. 威力業務妨害・偽計業務妨害・・・(3年)以下の懲役, (50万)円以下の罰金
- C. 脅迫・・・(2年)以下の懲役, (30万)円以下の罰金
- D. 恐喝・・・(10年)以下の懲役
- E. 名誉棄損・・・(3年)以下の懲役, (50万)円以下の罰金
- F. 侮辱・・・(30日)未満の勾留, (1万)円未満の科料
- G. わいせつ物頒布・・・(2年)以下の懲役, (250万)円以下の罰金
- H. 詐欺・・・(10年)以下の懲役
- I. 不正アクセス禁止法違反・・・(1年)以下の懲役, (50万)円以下の罰金

∴情報ツールの向こう側には,

「見えない他者」の権利と、それらを守る法律がある

◆感想をどうぞ